



大阪府医師会 女性医師支援プロジェクト  
— Gender Equality —  
基本スキーム

大阪府医師会理事 上田真喜子

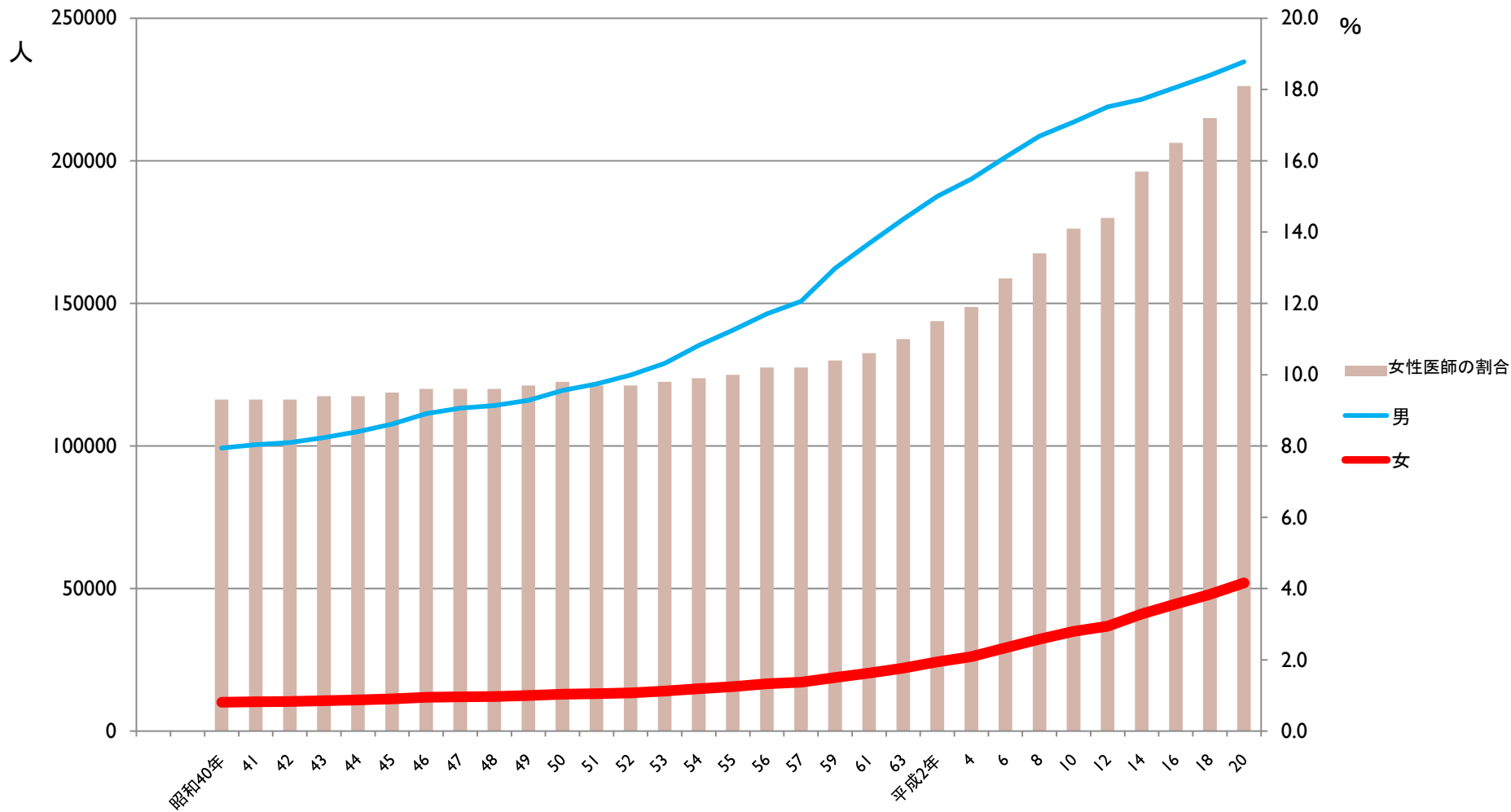
平成22年8月26日、大阪府医師会男女共同参画検討委員会承認

# 問題の所在

---

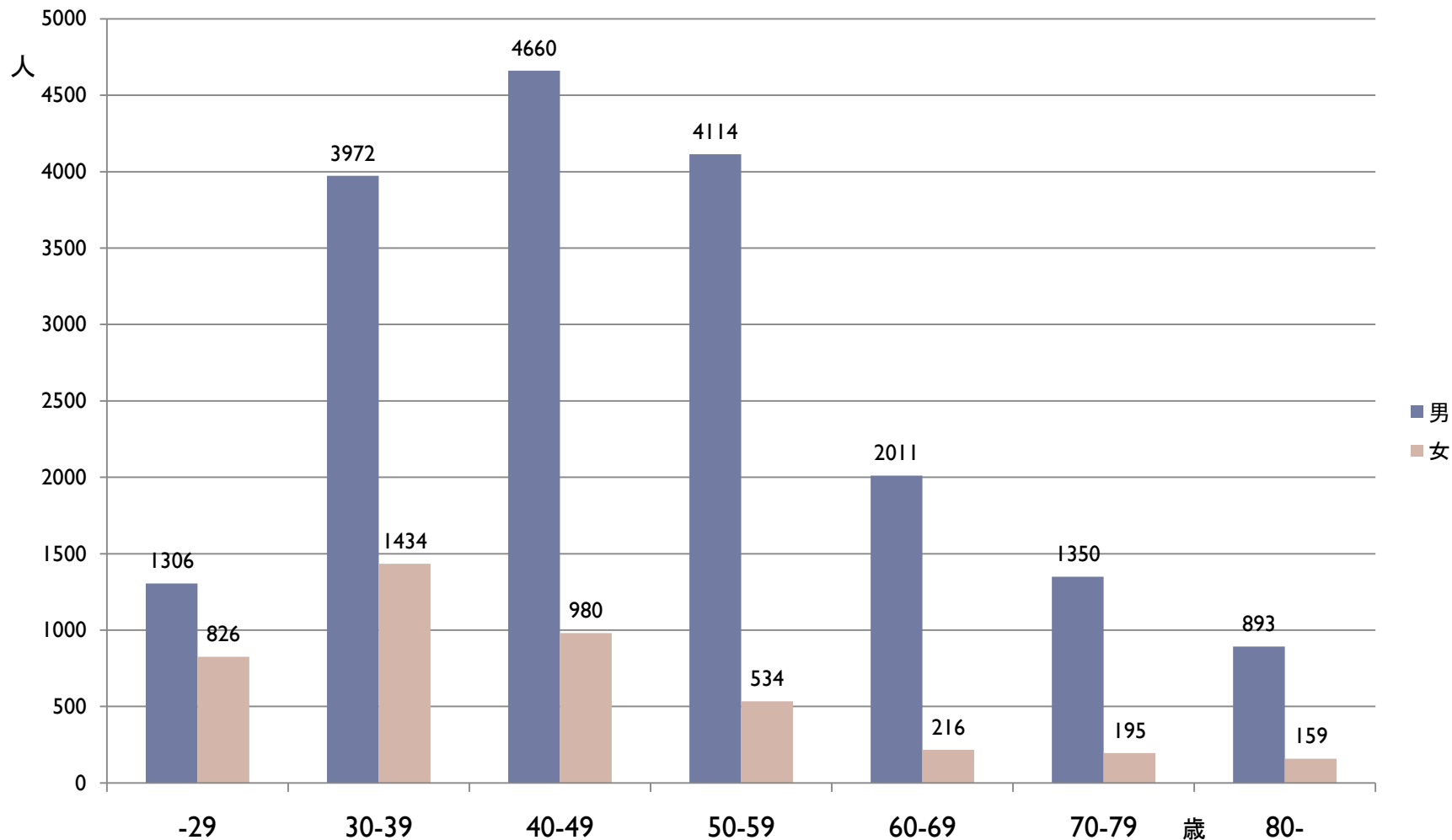
- ▶ 女性医師の増加
- ▶ 出産・子育ての不可避性
- ▶ 女性医師の出産・子育ての不安
- ▶ 医師不足、地域医療の衰弱、医師の過重労働
- ▶ 男女共同参画（Gender Equality）の推進

# 女性医師数の推移（全国）



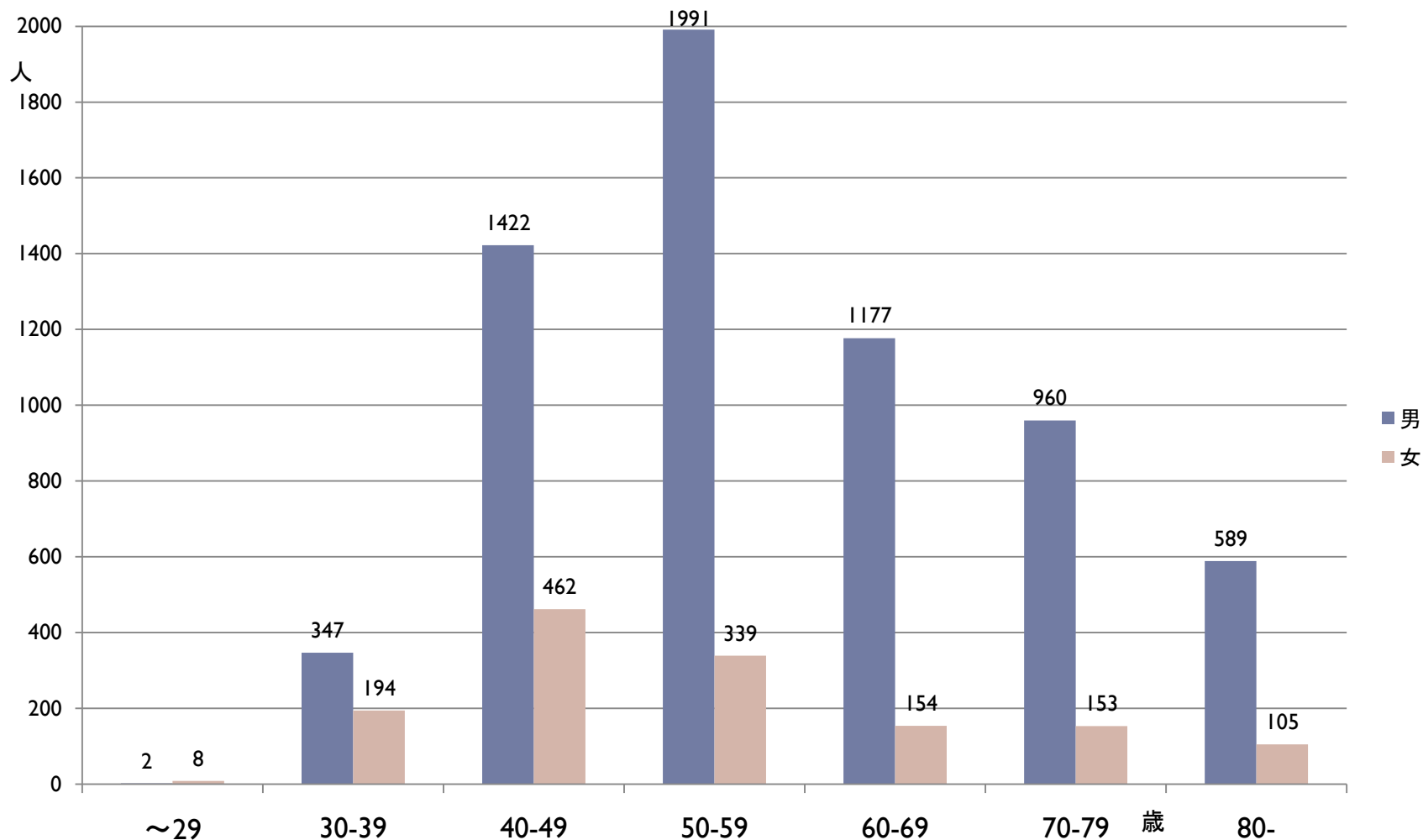
平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査より

# 女性医師の現況（大阪） 病院就業



平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査より

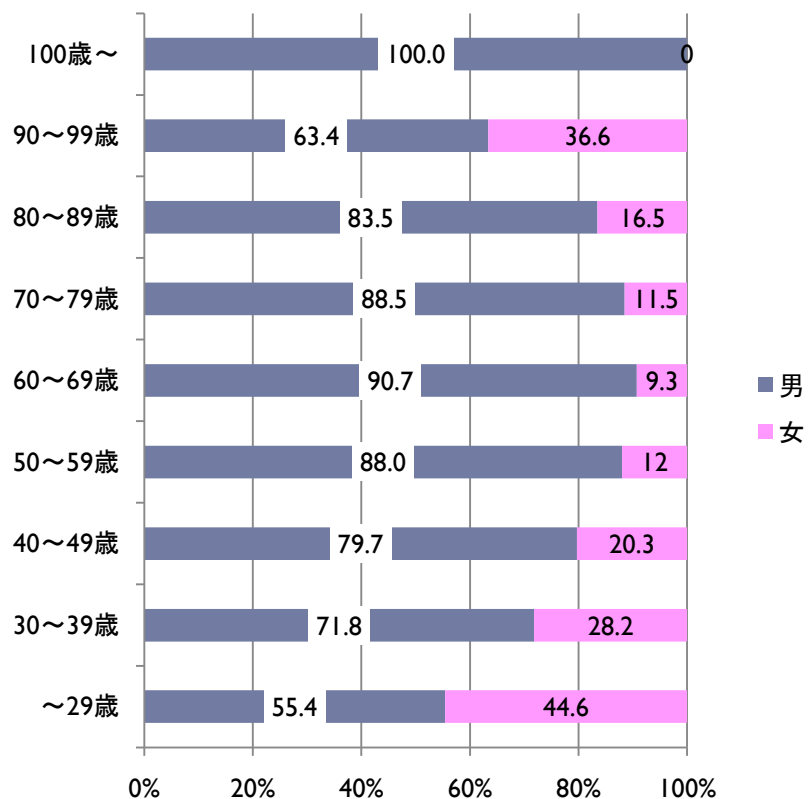
# 女性医師の現況（大阪） 診療所就業



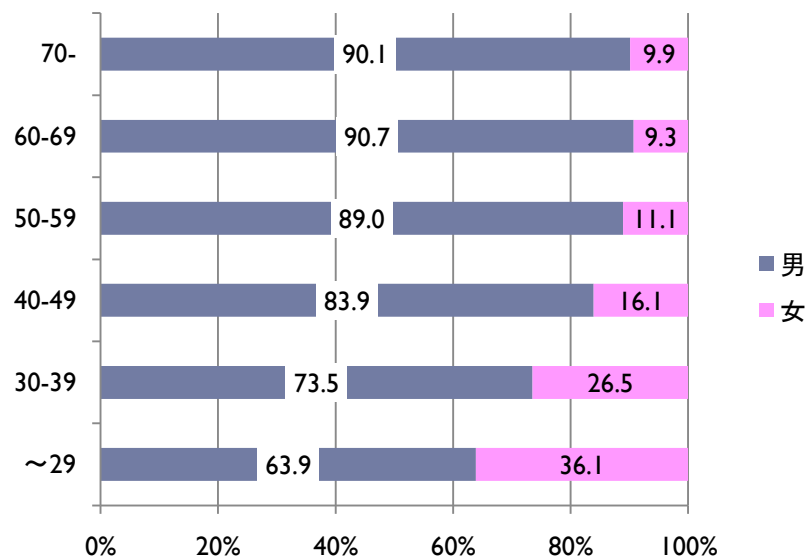
平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査より

# 大阪府医師会員における女性医師

## 大阪府医師会員(平成22年6月)



## 【参考】全国の医師(平成20年12月)



---

# 新たな女性医師支援の方策を目指して

# 「大阪府医師会 女性医師支援プロジェクトーGender Equalityー」 の概要

## 1. 子育てとの両立支援

- ▶ 1) 子供を院内保育所あるいは近隣の保育所に預けることができるようにする。
- ▶ 2) 子供が病気の際は、院内病児保育所あるいは近隣の病児保育所に預けることができるようにする。(地域における病院・医院間の病児保育連携システムの構築が必要)
- ▶ 3) 子供が小さい時の一定期間は、残業免除、当直免除または回数軽減、短時間勤務などの、柔軟な就労形態を提供する。
- ▶ 4) 各地域毎に、若い女性医師の「仕事と子育てとの両立」に関する率直な意見や悩みを聞いたり、先輩医師(男女問わず)の経験やアドバイスを聞く交流会を定期的を開催する。
- ▶ 5) 各地域ブロックのワーキンググループ (WG) を中心に、「女性医師の仕事と子育てとの両立」に関する問題点を挙げ、それらの解決策や支援策について検討する。また、各地域ブロック WG の企画・立案により、このような問題点や解決策・支援策などを紹介したり、職場意識啓発のための、シンポジウムやフォーラムを定期的を開催する。

---

## 2. キャリアアップの支援

- ▶
- ▶ 1) 女性医師が今後、医学の教育・研究・診療において、男性医師と対等のキャリアアップができるように、育成策や支援策を提言し、その推進にあたる。
- ▶
- ▶ 2) 大学や病院では、女性医師のキャリア形成と昇進に関して、
  - ▶ ・Equal Opportunities (男性と同一の機会)
  - ▶ ・Equal Treatment (男性と同一の待遇)
- ▶ を実行するように努める。

# 「男女共同参画検討委員会」の役割の概要

---

- ▶ 1. 大阪府医師会において、男女共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施にあたる。
- ▶ 2. 地域ブロック女性医師支援WGの人事を決める。
- ▶ 3. 各地域病院の院内保育所と病児保育所の現況をまとめ、改善策や地域連携システムについての提言をまとめる。
- ▶ 4. 各地域病院の「柔軟な就労形態」の実施状況を調査し、現況をまとめると共に、必要な方策や改善策について検討する。
- ▶ 5. 地域ブロック女性医師支援WGからの活動報告を検討し、支援策を提言する。
- ▶ 6. 女性医師が今後、男性医師と対等のキャリアアップができるような育成策や支援策について検討していく。
- ▶ 7. 次年度のアクションプランをつくる。

# 「地域ブロック女性医師支援ワーキンググループ」 の役割の概要

---

- ▶ 1. 地域毎に、若い女性医師の「仕事と子育ての両立」に関する率直な意見や悩みを聞いたり、先輩医師(男女問わず)の経験やアドバイスを聞く交流会を企画・立案・実施する。
- ▶ 2. 地域 ブロックWG で、女性医師の仕事と子育ての両立に関する問題点を探り、改善策や支援策について検討する。
- ▶ 3. 女性医師の仕事と子育ての両立支援や職場意識啓発をテーマにしたシンポジウムやフォーラムを企画・立案・実施する。
- ▶ 4. 各地域 ブロックWG の活動内容を、定期的に男女共同参画検討委員会および勤務医部会に報告する。

# 女性医師支援システム検討のための会内組織再編

## ▶ 本会男女共同参画検討委員会の委員編成変更

- 大阪府医師会女性医師支援プロジェクトを推進するために、5大学や病院勤務の医師にも参画をお願いした。

## ▶ ブロック女性医師支援ワーキンググループの設置

- 大阪府医師会全域での女性医師のニーズや意見を把握し、問題点を探り、解決・支援策を検討するために、大阪府医師会11ブロック別の地域女性医師支援ワーキンググループ(WG)を編成する。ブロックごとのWGには、地区医師会、勤務医部会、病院団体、大学から参画願うと共に、子育て中の女性医師の参加を求め、率直な意見を聞き、定量調査では把握困難な実態把握に努める。また、問題の解決策や支援策について他の会員とも討議するために、それらをテーマにしたシンポジウムやフォーラムをブロックWGごとに企画・開催する。

- 日本医師会「男女共同参画委員会」等
- 大阪府・大阪市 女性医師等支援事業

【本会担当役員】  
松原・茂松両副会長  
(主担当)上田真喜子理事  
(副担当)乾・矢野・北村各理事

## 大阪府医師会 男女共同参画検討委員会(14名)

ブロック女性医師支援ワーキンググループ  
【事務局=府医】

豊能ブロックWG

■ ■ ■

大阪市南部ブロックWG

勤務医部会①

郡市区医師会

②

在阪5大学

③

病院協会・私立  
病院協会

④

各地域WGの構成:①~④の各団体より1~2名程度推薦  
必須:現在、子育て中の女性医師(15歳以下の子どもをもつ)を各ブロックあたり数名入れる。

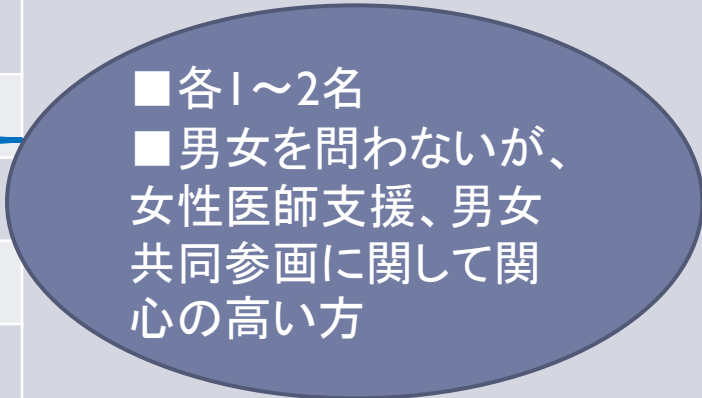
# 大阪府医師会男女共同参画検討委員会委員

	氏名	所属	備考
1	生野 弘道	弘道会守口生野記念病院 理事長	大阪府私立病院協会会長
2	今村 洋二	関西医科大学枚方病院 病院長	
3	大藪 恵一	大阪大学大学院医学系研究科 小児科学教室教授	
4	小田 公子	寺西報恩会長吉総合病院 小児科	小児科医会
5	川田 暁	近畿大学医学部 皮膚科学教授	
6	木野 稔	真美会中野こども病院 院長	大阪府病院協会理事
7	新宅 治夫	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学分野教授	
8	平松 昌子	大阪医科大学 一般消化器外科学講師	
9	山崎 麻美	(独)国立病院機構大阪医療センター 副院長	
10	西尾 順子	泉大津市立病院 副院長	
11	西野 照代	西野レディースクリニック 院長	産婦人科医会
12	野崎 京子	野崎クリニック 院長	大阪府女医会
13	丸山 優子	視恩会川添丸山眼科 院長	大阪府女医会会長
顧問	清野 佳紀	大阪厚生年金病院 名誉院長	
【担当役員】			
1	松原 謙二	大阪府医師会 副会長	
2	茂松 茂人	大阪府医師会 副会長	
3	上田 真喜子	大阪府医師会 理事(主担当)	
4	乾 治郎	大阪府医師会 理事(副担当)	
5	矢野 隆子	大阪府医師会 理事(副担当)	
6	北村 良夫	大阪府医師会 理事(副担当)	

ブロック	所在する郡市区医師会	大学
豊能ブロック	豊中市、池田市、吹田市、箕面市	大阪大学
三島ブロック	高槻市、茨木市、摂津市	大阪医科大学
北河内ブロック	守口市、寝屋川市、門真市、枚方市、交野市、大東四條畷	関西医科大学
中河内ブロック	布施、枚岡、河内、八尾市、柏原市	
南河内ブロック	富田林、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市	近畿大学
堺ブロック	堺市	
泉州ブロック	岸和田市、貝塚市、泉大津市、泉佐野泉南、和泉市、高石市	
大阪市北部ブロック	北区、都島区、大淀、淀川区、東淀川区、旭区	
大阪市西部ブロック	福島区、此花区、西区、港区、大正区、西淀川区	
大阪市東部ブロック	東、天王寺区、南、浪速区、東成区、生野区、城東区、鶴見区	
大阪市南部ブロック	阿倍野区、住吉区、住之江区、東住吉区、平野区、西成区	大阪市立大学

# ブロック女性医師支援WG

1つのブロックにおける推薦依頼 例

勤務医部会推薦	 <ul style="list-style-type: none"><li>■各1~2名</li><li>■男女を問わないが、女性医師支援、男女共同参画に関して関心の高い方</li></ul>
郡市区医師会長推薦(各医師会より1~2名)	
大阪府病院協会会長推薦	
大阪府私立病院協会会長推薦	
府内5大学からの推薦	

いずれのブロックにおいても、子育て中の女性医師(会員、非会員を問わない)数名の参画を必須条件とする。〔15歳以下くらいまでの子どもを育てていること〕